

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.1	令和2年4月より2ユニットに増床するにあたり、職員の増員を行った。今後どのようなグループホームにしたいか(職場訓)を見直すべく話し合いを行っている最中であるが、まだ完成していない。意識の統一を図るためにも早々に作り上げる必要がある。	目指すケアの方向性を職場訓としてしっかり掲げることは、職員全員の意識の統一を図り利用者様へより良いケアを提供することにつながる。	今ある現状と今後目指したいグループホームは何であるか、BS法で意見を出し合い文章の絞り込みを行った。最終調整に向けた話し合いを実施して職場訓を完成させる。	4ヶ月
2	No.2	施設というイメージが強くなかなか足を運んでいただけない現状がある。年1回はふれあい教室を開催したりしながら地域住民の皆様と交流を図ってきたがまだまだ十分とは言えない。	地域ボランティアの受け入れや地域行事への参加を積極的に行うことで顔見知りを増やしグループホームの存在を知ってもらう。そうすることで地域住民が安心して気軽に立ち寄れる場であるとの認識が深まり交流が活性化する。	①茶話会を開催し交流の場を積極的に作る。 ②地域行事に積極的に参加する。 ③オレンジカフェ等への参加を模索する。 ④利用者個別の外出支援を実施し、途切れた地域の馴染みの方との関係性を修復する。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。